

支店別議案説明会質疑応答

9月10日から13日、管内7会場で支店別議案説明会が開催されました。組合員の皆さまから寄せられた貴重なご意見・ご質問の一部をご紹介します。

【黒石支店】

Q. 剰余金処分案において出資配当金については継続する必要があるのではないかと。出資金の減少があり組合員に対して増資を促すためには最低でも貯蓄利息程度の出資配当は必要ではないのか。
A. 今後は金利上昇等も見込まれており、また剰余金も減少している中で難しくはあるが、次年度剰余金が増えた際には出資配当金が出せるよう検討いたします。

Q. 農林中央金庫で1兆5千億円の赤字を見込んでいるが、当農協に対して増資の依頼などは来ているのか。
A. 農林中央金庫への増資は全国の農協に対し、劣後ローンから出資金への振替を約7千億円、また任意募集で期限付きの劣後ローン約6千億円、計1兆3千億円の増資依頼がきており、その中で当農協に求められた額は32億8100万円の劣後ローンのうち7億5千万円を後配出資に振替すること、あと4億4300万円の増資依頼が来ております。

Q. ラジヘリ防除について、2回散布するのが原則だと思っていたが、

黒石地区だけが1回または2回の選択制で、他の地区は必ず2回散布しているということがあるが、それは本当か教えていただきたい。

A. 常盤、平賀地区も選択制となっている。2回ともカメムシ対策の薬剤が入っているが、最後の1回で終わっている方がかなりいます。また、大規模農家で色彩選別機がある方は空中散布に加入しない方もいます。周囲の農家への影響もあることですので、できるだけ2回散布してもらおうのが理想と考えますが、現状は各地区で対応が別れている状況ですので、今後協議していきたいと思っています。

【平賀支店・平賀東支店】

Q. 農協の葉取らずりんごは、着色しなくてはならない等条件が厳しすぎる。生産者サイドにたった取り組みが必要ではないか。
A. 葉取らずについては、50名5000箱程度の予約がある。青実の葉取らずについては、消費者から敬遠され単価も取れないことから農家の手取り額が低くなると思われる。農協の葉取らずりんごに関してはブランド化していきたいと思っていますので、了承願いたい。

Q. 減損損失の金額が、過去と比較して今年は少額であるが全施設の処理が終了したのか。
A. 土地・施設について全て処理した訳ではありません。減損損失の認識基準には2期連続赤字の施設などが該当するため金額は毎年違いますし、増加することもあります。

Q. トラック運賃の値上げはあったのか。
A. 運送業者と協議の上、10〜15%の値上げとなりました。また、出荷経費の抑制のためにトラック運賃よりも安価な、パレット輸送も併用してまいります。

Q. サンフェスタいしかわの加工場の改装や有効利用など、農協としての構想はあるのか。
A. 今後、「サンフェスタ友の会」会員と方向性を模索しながら協議してまいります。

Q. 春先、マメコバチの減少が大問題となったが、花粉の入荷が困難な状況の中、開葎事業に注目して行かなければならないと考えています。来期以降の見通しを教えてください。
A. 春先、マメコバチの減少が大問題となったが、花粉の入荷が困難な状況の中、開葎事業に注目して行かなければならないと考えています。来期以降の見通しを教えてください。

【板柳支店】

Q. 昨年、猛暑の影響もあり、りんごの集荷率が計画対比で63・9%となつていますが、農協の集荷に対する対応が遅かったように思われるので、今年は早い段階から集荷対策に取り組んでほしい。

【田舎館支店】

Q. 資料27P(6)施設の設置状況について書かれているが田舎館支店の建物自体も大分古くなつていようかと思えます。黒石支店、板柳支店、平賀東支店は建替更新しているが更新の予定はあるのか。
A. カントリーを解体した場所を1拠点にしたら良いのか組合員へお聞きしながら設置場所を決めたい。期限は決めては行かないが長期計画を策定し順次更新して行く必要があります。その為には経営の充実を図っていかねばならないと考えております。

Q. 冬期間田舎館りんごセンターの職員が手作業でコンテナを洗っているようですが、自動洗浄出来る設備を導入してはどうか。
A. コンテナ洗浄については冬場ではなく夏場に行っています。平賀中央りんごセンター、黒石中央りんごセンターでは、施設の中に洗浄機があるため選果しながら洗浄しています。ただ田舎館の施設については選果場の中に設置するには場所が狭い為、今後ポイラー等を設置出来るよう検討していきます。

Q. 農林中央金庫の経営について、J A津軽みらいでも預けていると思うが、かなりの損失が発生しているのに、また出資しなければなら

【尾上支店】

Q. 農林中央金庫の経営について、J A津軽みらいでも預けていると思うが、かなりの損失が発生しているのに、また出資しなければなら

Q. 合併してから十数年経過しているのだから、役員の定数削減に積極的に取り組んでもらいたい。
A. 今回の通常総代会にて選任される役員は、理事20名(現状25名)、監事6名(現状9名)となり定数削減となります。

Q. 総代会資料P6「主な事業活動と成果」内の生産資材にて、肥料について、前年より価格が下がったとあるが、どれ位下がったのか、また、今後の見通しをお知らせいただきたい。
A. 前年より価格が下がったとあるが、どれ位下がったのか、また、今後の見通しをお知らせいただきたい。

Q. 前年と比べて令和5年度産肥料は30〜40%程価格減となりました。また今後の見通しは、令和6年の秋肥価格は加重平均で8・6%値上げとなりましたが、春肥価格は1・6%値下げとなりました。最終的には春肥価格は前年より7%の値上げとなります。主な要因は未だに円が145円と安いことによるものです。

Q. 前年と比べて令和5年度産肥料は30〜40%程価格減となりました。また今後の見通しは、令和6年の秋肥価格は加重平均で8・6%値上げとなりましたが、春肥価格は1・6%値下げとなりました。最終的には春肥価格は前年より7%の値上げとなります。主な要因は未だに円が145円と安いことによるものです。

Q. 前年と比べて令和5年度産肥料は30〜40%程価格減となりました。また今後の見通しは、令和6年の秋肥価格は加重平均で8・6%値上げとなりましたが、春肥価格は1・6%値下げとなりました。最終的には春肥価格は前年より7%の値上げとなります。主な要因は未だに円が145円と安いことによるものです。



その他多くのご意見・ご要望をいただきました。今後は一つ一つの事業運営に努めてまいります。